



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和3年11月22日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

尾倉中の風景」～何気ない毎日こそ宝物～

新型コロナウイルス感染症は下火になりつつありますが、市内では小中学生の感染が確認されています。学校内でも、今まで通り感染防止対策に努めていきますので、ご家庭でもご指導のほどよろしくお祈りします。今日は、期末考査1日目です。生徒の真剣なまなざしは私たちに元気を与えてくれます。きょうはそんな尾倉中の風景です。



小倉城竹あかりのイベントに行きましたか。この3つの竹灯籠は実際に展示されていたものです。竹は小倉南区の合馬地区の廃棄される竹を再利用したものです。小倉北区の小・中学校のいくつかは、竹灯籠に貼る絵を毎年描いています。SDGsの取組の一つで、来年は尾倉中学校も参加する予定です。

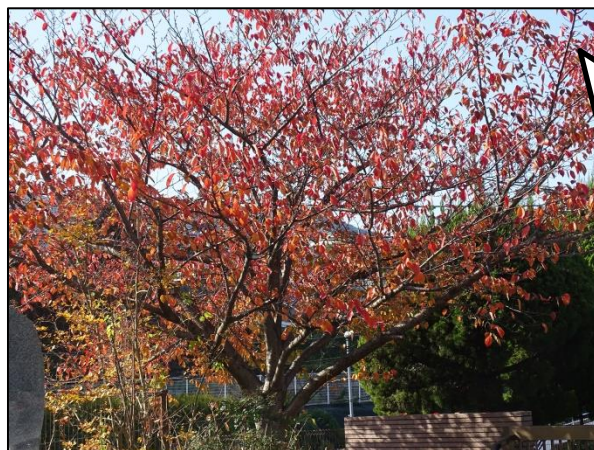


玄関前の生け花はスクールヘルパーの様が定期的に入れ替えて下さっています。ありがとうございます。花のある生活は心を穏やかにし、明日への活力を生み出す効果があると思っています。生徒のみなさんも、時には立ち止まって眺めてみてはどうでしょうか。心が落ち着くかもしれませんよ。

11月16日(火)PTA 理事会がありました。役員の方々、ご参加ありがとうございました。来年度へ向けて、新役員を選出も始まります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



玄関前中庭にはパンジーが植えられました。校務員の篠原先生が毎日手入れをしてくださっています。先生は、生徒にみなさんが学びやすい環境づくりに努めておられ、枯葉の処理、校内の修繕、草木の手入れなど朝からずっと仕事をしています。過ごしやすい学校には、いろいろな先生の力が必要です。



桜の葉も紅葉し、また違った趣を感じることができます。以前に聞いたことですが、「枯れる=美しい」と感じる感性は、日本人特有の感情だそうです。青々とした葉が紅葉し、散っていく、そして春になると新しい葉が芽吹いていく-そんな生命のつながりを日本人は自分の人生に重ねるのかもしれない。



2・3年生校舎から見た皿倉山です。神功皇后の伝説が残る山としても知られ、山の名前も神功皇后の言葉に由来すると伝えられています。神功皇后が下山するときには日が暮れていて「更に暮れたり」と言ったことから、この一帯が更暮山または更暗山と呼ばれ、それが更倉山、皿倉山に転じたと言われているそうです。

期末考査の一場面です。3年生の廊下の様子。きちんと整理されています。この調子なら試験も大丈夫!(かな?)入試まで頑張りましょう。

